

# きよしの話 あしたの話



AKASAKA, TOKYO Shigeo Saito

社団法人 日本作詩家協会 年刊詩謡集

1991年版

# きょうの詩 あしたの詩

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

1991年版

## 序 文

会 長 石 本 美 由 起

芙蓉の花が咲き、秋の気配を感じるころ、「作詩大賞」の実施や「年刊詩謡集」の編纂、校正、発行で事務局は俄然忙しくなる。二つの事業を同時に進行する日々は、まさに、てんや、わんや……。

今年は特に参加作品が多く、今までの記録破りではないだろうか。それだけ、皆さんの創作意欲と作詩家協会に対する仲間意識が、さらに充実して来たものと私は思う。

掲載作品には正直なところ玉石混交のきらいもあるが、それはプロとセミの違いであり、なにも比較して考えることとはあるまい。花には花の美しさ、雑草には雑草の魅力がある。優劣を論じるよりも、お互の健筆を讃えあいたい。

嬉しいことである。

楽しいことである。

ありがたいことである。

# 目次

〈氏名 五十音順〉

序	文	石本美由起	一
雨あがり	あいたかし	三〇	
ひと	愛行子	三二	
雑草ごころ	愛川あい	三三	
熟年別れ酒	葵昭人	三三	
百年一生夢の旅	青木秋雄	三四	
北国酒場	青木三郎	三五	
お七情炎	秋篠さと	三六	
こぼれ唄	秋田泰治	三七	
夢ひとすじ	浅見竹穂	三八	
酔町しぐれ	飛鳥井芳朗	三九	
ゴルフ風景	荒川利夫	三〇	
平成船頭小唄	アベ・イチロー	三一	
あの頃のおんたへ	鮎川公正	三二	
うちの旦那さん	淡路しのぶ	三三	
冬・それぞれの景色	飯田悠介	三四	
俺の花	飯塚義美	三五	
逢いたいあなた	生田恵子	三六	

出世太鼓	池浦利彦	三七
人生橋	池口恵観	三八
ナナカマドの赤い実	池田充男	三九
大人の関係	いけやかつとし	四〇
新妻港	生駒かつゆき	四一
土になりたい	石井鐘三郎	四二
恋螢	石井文生	四三
湯の町育ち	石川泰久	四四
俺の花	石黒忠	四五
狐の恋文	石坂まさを	四六
男と女の夢芝居	石田六郎	四七
さそわれて愛	石本美由起	四八
晩秋怨歌	泉淳三	四九
早春	いそのあきを	五〇
晶子抄	井田誠一	五一
お月さん	板倉文子	五二
スルメ二枚と一升さげて	いたくらひろゆき	五三
佐田岬	いちはじめ	五四
なみだ岬	市川武志	五五
ひとりの挽歌	伊藤公一	五六
人生坂道	伊藤悟	五七
小樽恋人形	いとうもりお	五八
哀愁港	稲葉爽秋	五九
「お疲れさんです」「ご苦労さん」	井上融	六〇
焼木杭に火がついた	伊野上のぼる	六一

愛の乱飛行	今井修	三
南方船	今里修	三
星を売る女	井村昭治	四
はぐれ鳥	井村幸男	五
東京ヤンバルクイナ	伊予圭相	六
朱鷺の詩	岩瀬ひろし	七
はなれ瞽女・吹雪唄	岩田小筆	六
男前	岩田道之輔	九
親子船	上野たけし	〇
一人前に暮らしたい	宇佐見良好	七
華炎	碓氷夕焼	三
出世相撲	内田善士	三
女の水無月	宇都木正次	四
あやとり橋	宇都宮美代	五
もぎたての愛	浦田常治	六
ほたる恋の宿	えいたかこ	七
惚れたのはわたし	海老澤孝一	七
鳥串一代	大崎二三子	九
東京海峡流れ潮	大澤陽央	〇
ラベンダーの町にて	大竹敏雄	一
鬼灯	大沼里榮	二
寿司屋の源さん	大橋哲郎	三
愛はうるわし	大前裕子	四
こもれ灯	大森富士子	五
黒潮男歌	大屋詩起	六

ひるがおの花……………	おかべ しづこ……………	八七
熱盛りそば……………	小川 比富美……………	八八
さよなら利尻富士……………	奥村 和弘……………	八九
まよい切符……………	夏花 咲朗……………	九〇
恋の旅路……………	長田 治雄……………	九一
浅草夢幻絵図……………	おだ みさを……………	九二
泥んこ人生……………	落合 秀男……………	九三
こころ川……………	鬼塚 正憲……………	九四
わが師の恩……………	小野 都久……………	九五
火砕流にも愛は勝つ……………	小野 津加佐……………	九六
飛べないカラス……………	おもて やちよ……………	九七
宵待川……………	小山 良……………	九八
朝焼け……………	甲斐 新……………	九九
はてなき旅路……………	柿沼 宏……………	一〇〇
女の愛……………	かつま よしえ……………	一〇一
網走紀行……………	かとうえつろう……………	一〇二
男太鼓……………	加藤 市平……………	一〇三
鮭……………	加藤 完二……………	一〇四
愛のくさり……………	加藤 テル……………	一〇五
ハンドル人生……………	神作 光志……………	一〇六
鷗の女房……………	かわうちのぼる……………	一〇七
五百羅漢あっけらかん……………	河島 渉……………	一〇八
白い恋唄……………	川西 美智子……………	一〇九
愛唱歌……………	河原 忠一……………	一一〇
娘王将あばれ駒……………	川端 はじめ……………	一一一

幸福への旅だち……………	北田幸子……………	二二
ねぶた師一代……………	木立雄幸……………	二三
女ですもの……………	北野彩……………	二四
愛の川……………	北原いずみ……………	二五
女のわたし……………	北村直之……………	二六
本州最北恋旅情……………	木村賢司……………	二七
なんだ神田じゃないけれど……………	木村壮吉……………	二八
惚れたらあかん……………	木村幹枝……………	二九
わたる世間に鬼はない……………	國井ただし……………	三〇
五番町遊女……………	國枝星志……………	三一
アンアン人生……………	倉島雅三……………	三三
男の船出……………	黒川良人……………	三三
親ごころ……………	合格……………	三四
朝顔市……………	古賀一弘……………	三五
陽だまり……………	こさか優……………	三六
若い薔薇……………	越野みのる……………	三七
くちびるまでの数え唄……………	小島香澄……………	三八
一つ時代の終りを知った……………	小島高志……………	三九
夫婦章……………	小島哲……………	三〇
女房……………	後藤孝吉……………	三一
蜃気楼……………	小西道善……………	三三
染みた手紙……………	木庭武……………	三三
裏街哀歌……………	こばやし克至……………	三四
古城に菊は香れども……………	小林金次郎……………	三五
情け舟……………	小林たけし……………	三六



夢しぶき	近藤 しげる	一三七
華 宵	齋藤 清美	一三八
夜とお酒と「かわら版」	斉藤 たくいち	一三九
ひとりしずか	桜 詩 恵	一四〇
ベイブリッジの夜	桜 本 繁	一四一
ゆとり舟	佐々木 哲夫	一四二
おぼろ夢	佐々木 安伸	一四三
愛の特許権	佐田 英介	一四四
変ったのね	さとう すすむ	一四五
道 半 ば	佐 東 たどる	一四六
恋をせんとや生まれけん	佐藤 としかず	一四七
紅蓮・慕情	さとう ひでを	一四八
一生懸命ご苦労さん	佐藤 邦夫	一四九
故里ごころ	佐藤 秀千代	一五〇
北海よされ唄	佐藤 八十路	一五一
籠 の 花	里 村 龍 一	一五二
春おぼろ	佐野 しずか	一五三
人生五分咲き	佐野 文湖	一五四
まさかまさかの坂こえて	猿 丸 笑子	一五五
シャンペンもどきのソーダ水	志 賀 大 介	一五六
三 陸 漁 港	柴 田 恒 男	一五七
チンチロリン	柴田 よしかず	一五八
未練だね	芝 山 和 子	一五九
うしろの正面お前	志 摩 勝 也	一六〇
花嫁の父	志 摩 小 五 郎	一六一

別れのカフェ・オ・レ……………	寫	馨子……………	一六二
おんな日本海……………	下地	亜記子……………	一六三
宴……………	下野	登美子……………	一六四
大陸の花嫁……………	新保	治平……………	一六五
暫くの間……………	眇田	榮一……………	一六六
八色の幸福……………	菅野	政義……………	一六七
春の宿……………	菅原	良平……………	一六八
なあ息子よドントやれ……………	鈴木	信也……………	一六九
女の街道……………	鈴木	昭一……………	一七〇
追憶酒場……………	鈴木	孝……………	一七一
人生おせおせ音頭……………	鈴木	信子……………	一七二
夕化粧……………	鈴木	れい子……………	一七三
時雨坂……………	須田	勝雄……………	一七四
友よ……………	須田	茂樹……………	一七五
集落恋しや……………	炭谷	昌彦……………	一七六
天声人語……………	関口	義明……………	一七七
奈良の恋唄……………	関沢	新一……………	一七八
小樽恋情「ランプの様に」……………	関沢	忠重……………	一七九
笑顔見せよう……………	関根	照子……………	一八〇
さくら花子……………	相馬	詩彦……………	一八一
陽炎の恋……………	曾我	幸義……………	一八二
兎とかめ……………	たか	たかし……………	一八三
失意……………	たかぎ	かずお……………	一八四
燃える桜島……………	高城	俊男……………	一八五
小さな恋……………	高田	れい子……………	一八六

恋したね	高塚和美	一八七
ひとり川	高野礼子	一八八
上州屋	高橋一仁	一八九
夏すがた 阿波の情熱	高橋テツ子	一九〇
北国情話	高橋直人	一九一
タラは言わない	高橋ゆきを	一九二
姉さん女房	高畑和之	一九三
北波止場	高安弘	一九四
常磐路慕情	滝川たけお	一九五
いろは夫婦酒	多岐川まさし	一九六
雲仙悲歌	滝田常晴	一九七
恋 四季	たきのえいじ	一九八
霧島旅愁	竹内きよと	一九九
越後路ひとり旅	立川加根	二〇〇
浮世妻	田中衆兵	二〇一
織田信長	たなかゆきを	二〇二
仔猫のミー子	たにはら伸	二〇三
酔ったふりして甘えたい	田畑しげき	二〇四
お金が恐い	玉川良一	二〇五
天草西海岸	田村和男	二〇六
あんころ餅の唄	千葉幸雄	二〇七
男と女の別れ酒	塚谷清一	二〇八
背かれる日のために	対馬慎一郎	二〇九
女の花道	土川多恵	二一〇
祭花火	土屋正敬	二一一

千人鳥	つるぎ	まさる	三二
男人生	照沼	寛	三三
醉芙蓉	戸枝	ひろし	三四
鬨犬一代	戸田	富久子	三五
港のおまえ待ってるな	外松	たつお	三六
男の夢舞台	鳥羽	貞子	三七
五月雨	鳥居	紗衣	三八
由起子	豊岡	敏	三九
湯の宿	長島	ゆたか	三〇
渚にて	なかにし	礼	三一
出雲路ひとり旅	中野	惣太郎	三三
人生峠	中野	和光	三三
女の心の一頁	中村	よしあき	三四
ひとり舟	中村	よしかず	三五
菜鼓火の女	中村	美智子	三六
来たらいがっぺ	長峰	篤夫	三七
夢破れて山河あり	中山	邦雄	三八
真心	中山	真一	三九
女の彩	中山	大三郎	三〇
たそがれに乾杯	中村	要子	三一
男の修業	那須野	巖	三二
平成版・正気之歌	成瀬	左千夫	三三
酒は男の履歴書だ	仁井谷	俊也	三四
ほんとうの愛	賛田	清	三五
悲しいりんご	貫井	昭五	三六

ブルースを踊ろう……………	二本松 あさひ……………	三七
男・四十はモテざかり……………	沼川 淳……………	三八
恋人は死にましたけど……………	能勢 英男……………	三九
人生通り……………	能丸 武……………	四〇
ふるさとの父……………	根本昌幸……………	四一
ほろ酔い螢……………	野本サカエ……………	四二
千鳥の曲……………	野村耕三……………	四三
津軽です……………	のたきひであき……………	四四
あなたの星に……………	萩原 志賀子……………	四五
また逢うためのさよならを……………	羽澤 ふみ子……………	四六
寒 椿……………	はしお あきら……………	四七
じょんがら流れ旅……………	長谷川 洋……………	四八
流れ藻の詩……………	畑 よしかず……………	四九
東京案山子……………	はち 惣平……………	五〇
女の勲章……………	花木 みつる……………	五一
年寿音頭……………	英 玲二……………	五二
ああ純子……………	浜 一朗……………	五三
ひとり旅……………	浜 晃一……………	五四
すみません お母さん……………	浜岡 三郎……………	五五
め組の辰五郎……………	原 あきら……………	五六
夢待ち舟……………	原 こうじ……………	五七
つっぱりの春……………	原 純子……………	五八
真夜中の城……………	原 文彦……………	五九
浮島慕情……………	原田なおみち……………	六〇
恋 花……………	晴菜 千秋……………	六一

草	笛	伴	在主計	二六二
晶子讚歌	柀	たけし	二六三	
螢火花蓮華	樋口	智生	二六四	
恋っという奴あ	平井	健	二六五	
花の一本釣り唄	平川	せいぎ	二六六	
乱れ牡丹	広野	アイ子	二六七	
夜明けのチャボ	福沢	てつや	二六八	
女の鶴の舞い	ふくだ	恒	二六九	
俺は離さない	藤	八郎	二七〇	
旅	藤	まさる	二七一	
一級演歌酒	藤	枝省	二七二	
雨	藤	岡和子	二七三	
母恋椿	藤	田秀美	二七四	
京の舞	舟	根久夫	二七五	
それも幸せ花のうち	古	野哲也	二七六	
浪花夫婦駒	北	条 繭	二七七	
恋無心	ぼ	くはじめ	二七八	
流水の女	星	合節子	二七九	
根室海峡	星	川成一	二八〇	
須磨寺あたり	星	野哲郎	二八一	
れんこん追想	ほ	たる 翔	二八二	
添えない宿命	細	川ふみ子	二八三	
夕紅葉	堀	五郎	二八四	
魅惑	堀	尾恭子	二八五	
おんな芝居	本	郷辰年	二八六	

大瀬崎恋唄	本間繁義	二八七
命星	正木のりゆき	二八八
葛西の女	益田清	二八九
唄は人生泣き笑い	増山一郎	二九〇
母岬	松井由利夫	二九一
門出	松尾和彦	二九二
家族の木	松崎暎子	二九三
北の夜景	松田郷人	二九四
恋友禅	松平史紀	二九五
男の舞台	松本夏女	二九六
一度しかない人生だから	松本敦央	二九七
かくれ花	松本摂子	二九八
夕顔の宿	真間真智子	二九九
恋はアラカルト	真弓田幸一	三〇〇
恋いちもんめ	万城たかし	三〇一
そば打ち太郎	みおこうすけ	三〇二
京都夢幻	三上博司	三〇三
平成音頭	美貴裕子	三〇四
古都の川	水木れいじ	三〇五
駿河路は玩具よいとこ	水野甚太郎	三〇六
少年の夢	水野喬	三〇七
新 宿 螢	道山直樹	三〇八
あきらめ酒	南 かおる	三〇九
恋の煩惱	幹 政人	三一〇
樹氷の花	水口勝明	三一

晩	秋	南	早苗	三二
のんべ親父	峰	なおき	三三	
せせらぎの宿	峰	よしを	三四	
春待川	峰崎	林二郎	三五	
ミスター・レディー	宮内	たけし	三六	
大地の子守歌	三宅	立美	三七	
極楽トンボ	みね	隆	三八	
燃えて女夜叉	宮崎	てるみ	三九	
お星になったおばあちゃん	みやざき	あきら	三〇	
殺殺殺と	宮原	哲夫	三一	
漁友	武藤	けんじ	三二	
にんぎょ	村上	碧	三三	
夫婦しぼり	村上文恵		三四	
演歌だね	紫野	ゆき	三五	
こころ、たてむすび	室井	隆	三六	
人生春秋	名月	秋太郎	三七	
都忘れ	百山	聡	三八	
ルーシーのリボン	森岡	司	三九	
恋の花実	森田	えい美	三〇	
タケちゃん	杜	としを	三一	
悠久の詩	八木	吾郎	三二	
しあわせづくし	矢坂	秀司	三三	
他人女	八坂	みやび	三四	
雪まろげ	安田	福美	三五	
竹の精	やま	一央	三六	



流 浪 者	山 上 路 夫	三三七
恋ばしとっとき	山 北 由 希 夫	三三八
北 の 兄 貴	山 口 倉 雄	三三九
沖 繩 悲 歌	山 口 純	三四〇
雨の新宿三丁目	山 崎 有 道	三四一
紅 花 舟 唄	山 田 孝 雄	三四二
運命に生きる	山 田 信 夫	三四三
守って下さいお月様	山 田 博 康	三四四
ゆのやど・えんか	や ま だ り ゆ う	三四五
見沼用水 斜面の森	大 和 千 泉	三四六
私の夏も終るのね	山 中 雅 美	三四七
お月さんいくつ	山 本 恵 三 子	三四八
酒 物 語	山 本 ヤ エ 子	三四九
大江戸恋女	山 元 ひ ろ し	三五〇
すつきりするぜ	湯 浅 操 子	三五一
洲 崎 の 女	友 里 裕 介	三五二
流 灯	横 井 弘	三五三
魅惑のシカゴ	横 山 計 江	三五四
大つごもり	吉 岡 広 己	三五五
登美子悲恋歌	吉 田 純 治	三五六
源 氏 名	吉 田 よ し 子	三五七
冬 螢	吉 田 旺	三五八
花 遍 路	淀 川 詩 朗	三五九
ギターよ	若 松 か つ 子	三六〇
人生空くじ当りくじ	若 み どり	三六一

恋ごころ	若林圭子	三六二
海ほたる	若林澄人	三六三
雪の宿	渡辺和於	三六四
愁い街	渡辺桂太郎	三六五
これが人生なら	渡辺螢雪	三六六
春季	渡辺としえ	三六七
男だから	渡辺ひさし	三六八
あなたを独り占め	渡辺よし枝	三六九

題字 石本美由起

表紙画 斎藤茂

(一陽会会員)